

# 第 4 期大阪府がん対策推進計画 P D C A 進捗管理票について

令和 7 年度大阪府がん対策推進委員会  
第 3 回がん登録等部会

## 基本的事項

### ●計画策定の趣旨・背景

がん患者への医療の提供等の現状と課題を把握し、その解決を図るための取組みを社会全体で総合的かつ計画的に推進

### ●計画の位置付け

がん対策基本法第12条第1項の規定に基づき策定する、がん対策の推進に関する都道府県計画

### ●計画の期間

令和6（2024）年度～令和11（2029）年度（6年間）

## 基本理念

がんになっても適切な医療を受けられ、安心して暮らせる社会の構築

## 全体目標

●がん死亡率の減少

●がんり患率の減少

●がん生存率の向上

●がん患者や家族の生活の質の維持

がんの予防、早期発見	がん医療の充実
(1)がんの予防 (2)肝炎肝がん対策の推進 (3)がん検診によるがんの早期発見	(1)医療提供体制の充実 (2)小児・AYA世代のがん、高齢者のがん、希少がん等の対策 (3)高度・専門的な医療の活用 (4)緩和ケアの推進
患者支援の充実	データの基盤整備・活用
(1)がん患者の相談支援 (2)がん患者への情報提供 (3)がん患者等への社会的な問題への対策	(1)がん登録の精度向上 (2)がん登録等のデータの利活用
がん対策を社会全体で進める環境づくり	
(1)社会全体での機運づくり (2)大阪府がん対策基金の活用 (3)がん患者会等との連携推進 (4)がん教育、がんに関する知識の普及啓発	

## 1 がんの予防・早期発見

(1) がんの予防	(2) 肝炎肝がん対策の推進	(3) がん検診によるがんの早期発見
① たばこ対策 ② 喫煙以外の生活習慣の改善 ③ がんに関する感染症対策	① 肝炎肝がんの予防 ② 肝炎ウイルス検査の受検促進 ③ 受診・受療の推進 ④ 肝炎肝がんに関する普及啓発の推進	① 市町村におけるがん検診受診率の向上 ② がん検診の精度管理の充実 ③ 職域におけるがん検診の推進

## 2 がん医療の充実

(1) 医療提供体制の充実	(2) 小児・AYA世代のがん、高齢者のがん、希少がん等の対策	(3) 高度・専門的な医療の活用
		(4) 緩和ケアの推進
① がん診療拠点病院の機能強化 ② がん医療連携体制の充実	① 小児・AYA世代のがん ② 高齢者のがん医療 ③ 希少がん等	① 緩和ケアの普及啓発 ② 質の高い緩和ケア提供体制の確保 ③ 緩和ケアに関する人材育成 ④ 社会連携に基づく緩和ケア

## 3 患者支援の充実

(1) がん患者の相談支援	(2) がん患者への情報提供	(3) がん患者等の社会的な問題への対策
① がん相談支援センターの認知度及び質の向上	① 情報提供	① 小児・AYA世代における療養環境への支援 ② 全ての働く世代のがん患者の就労支援の推進 ③ 高齢者の支援 ④ 妊よう性温存治療について ⑤ アピアランスケアの充実 ⑥ がんのリハビリテーション提供体制の整備

## 4 データの基盤整備・活用

(1) がん登録の精度向上
(2) がん登録等のデータの利活用
① がん登録による情報の提供 ② がん登録による情報の活用

## 5 がん対策を社会全体で進める環境づくり

(1) 社会全体での機運づくり	(2) 大阪府がん対策基金の活用
(3) がん患者会等との連携推進	
(4) がん教育、がんに関する知識の普及啓発	

## がん年齢調整死亡率の減少

	【全体目標】	計画策定時の値	現状値	2029年度目標値
1	大阪府のがん年齢調整死亡率（75歳未満） 【人口動態統計を用いて大阪国際がんセンターがん対策センター作成】	132.2人 <人口10万対> 【令和3（2021）年】	127.5人 <人口10万対> 【令和4（2023）年】	減少

- 大阪府のがん年齢調整死亡率（75歳未満、2015年モデル人口）は、人口10万人あたり127.5人（計画策定時 -4.7人）であり、計画策定時より減少

## がん年齢調整り患率の減少

	【全体目標】	策定時の値	現状値	2029年度目標値
2	大阪府のがん年齢調整り患率（75歳未満、進行がん） 【大阪府がん登録データを用いて大阪国際がんセンターがん対策センター作成】	268.4人 <人口10万対> 【令和元（2019）年】	251.9人 <人口10万対> 【令和2（2020）年】	減少

- 大阪府のがん年齢調整り患率（75歳未満、進行がん、2015年モデル人口）は、人口10万人あたり251.9人（計画策定時 -16.5人）であり、計画策定時より減少

## がん生存率の向上

- 関係する個別目標、モニタリング指標において、がん患者の5年相対生存率がやや増加。

## がん患者や家族の生活の質の維持

- 関係する個別目標、モニタリング指標の一部は、令和8年度に実施する患者ニーズ調査の結果を待つ必要があるが、目標、指標の多くは、ほぼ横ばい。

## 4 データの基盤整備・活用

- (1) がん登録の精度向上 計画P 79
- (2) がん登録等のデータの利活用 計画P 79-80

### 《第4期大阪府がん対策推進計画における個別目標》

	モニタリング指標	計画策定時の値	現状値
1	DCO ※ ＜がん登録データの精度の維持＞ 【大阪府がん登録】	1.9% 【令和元年（2019）年】	2.1% 【令和 3（2021）年】
2	がん登録データなどの情報提供件数 【がん対策センター調べ】	28件 【令和4年（2022）年】	18件 【令和 7（2024）年】

※死亡情報のみの登録患者の割合で、登録されたがんの診断精度を示す指標。

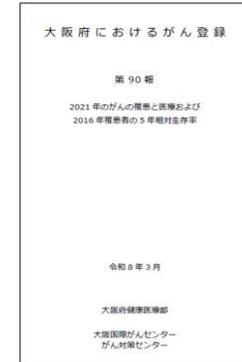
- ◆全国がん登録の実施に伴い、精度維持・向上や得られたデータの活用が求められている。
- ◆悉皆性のある全国がん登録データの活用とともに、即時性において優位性のある院内がん登録データの活用が求められている。

《がん登録の精度向上》

- 全国がん登録実務者研修会の実施【R7.5：70施設 87名参加】
- 院内がん登録実務者研修会の実施【令和7年5月16日現地開催61施設96名参加、令和7年10月17日現地開催60施設89名参加】

《がん登録等のデータの利活用》

- 平成31年1月より全国がん登録情報の提供を開始。同年5月より、大阪府がん対策推進委員会がん登録等部会において情報提供の審議を開始。今年度は18件の情報提供を決定（審議会を経ない病院への情報提供は14件）
- 大阪がん情報ウェブサイトにて、地域がん登録及び全国がん登録に関する情報を共有
- 拠点病院診療実績について、現況報告の最新情報を大阪がん情報ウェブサイト上にて公開
- ブロック別、地域別、市区町村別の罹患、死亡、生存率についての成績を報告書（大阪府におけるがん登録）として作成し、医療機関に配布（R7.12）
- がんの罹患、がん患者の医療、生存率についての成績を年報（大阪府におけるがん登録）として作成し、医療機関に配布（R8.3予定）
- 大阪府がん診療連携協議会と連携し、医療機関の診療実績、病床数、特徴的な取組み等を大阪がん情報ウェブサイト内にがん情報サマリーとして公開
- がん診療拠点病院からがんに関する詳細なデータを効率的に収集するため、府指定拠点病院の現況報告書のシステム化に向け、大阪府がん診療拠点病院5施設よりシステムによるデータ収集を試験実施



【年報】



【がん情報サマリー（大阪がん情報ウェブサイトより）】

<p>令和7年度 最終予算 (主要事業)</p>	<p>がん登録事務委託料 (16,282千円) がん登録報告書印刷費 (246千円)</p>
<p>課題・必要 な取組み</p>	<p>《<u>がん登録の精度向上</u>》 ■拠点病院等のがん登録実務者のスキルアップ</p> <p>《<u>がん登録等のデータの利活用</u>》 ■拠点病院等におけるがん登録データの更なる活用促進</p>
<p>次年度の 主な取組み</p>	<p>《<u>がん登録の精度向上</u>》 ■全国がん登録実務者研修会を実施</p> <p>《<u>がん登録等のデータの利活用</u>》 ■がんの罹患、がん患者の医療、生存率についての成績を年報（大阪府におけるがん登録）として作成し、医療機関に配布 ■各圏域のがん診療ネットワーク協議会におけるがん登録を用いた分析の実施 ■大阪府がん登録病院連絡協議会等の場を活用して各医療機関との連携を促進 ■府内がん診療拠点病院等の診療実績を集約し公表 ■大阪国際がんセンターと連携を図り、円滑にがん登録情報を提供 ■がん登録を活用したモニタリング事業の推進 ■がん診療拠点病院からがんに関する詳細なデータを効率的に収集するため、全ての府指定拠点病院の現況報告書のシステム化を実施</p>
<p>令和8年度 予算 (主要事業)</p>	<p>がん登録事務委託料 (16,282千円) がん登録報告書印刷費 (280千円)</p>